

2021年度 山形大学 地域連携プラットフォーム 構築プロジェクト キックオフフォーラム

小白川キャンパスが 100 年を迎えるこの記念の年に、山形大学はこれまでの軌跡を振り返るとともに、これからの 100 年の展望を打ち出していきます。そのキックオフイベントとして、大学と街の歴史を振り返るとともに、現在とアフターコロナについて考えるフォーラムを実施します。今回は2つの視点を取り上げます。まずは山形市誕生から現在まで道のりと、その過程を物語る資料を収集・保存してきた人々と山形大学附属博物館についてです。もう1つの視点は海外からです。山形大学附属博物館が連携協定を締結しているボローニャ大学附属博物館から、大学と街とが共に発展してきた経緯と、新型コロナウイルス感染症をどう乗り越えつつあるのか、そして、その後の街と大学と博物館との関係について展望をお話いただきます。

激変する社会において、より良い未来を作っていくためには早急に答えを出すのではなく、一人一人が考える基盤を形成していくこと、そして、共に生きるひとたちが手をつなぎ、話し合える場が常にあることです。本フォーラムがそのきっかけとなることを目指します。

七日町と山形大学、そして、ボローニャ（イタリア）の取り組み

はじめます、 未来のまちと ひとのための アーカイブづくり



2022年

2月10日[木]・2月11日[金祝] 18時▶20時

講演	18:10-18:50
質疑応答	19:00-20:00

2月10日

第1部 | 世界とともに考える パンデミック後の大学博物館の未来

ロベルト・バルツァーニ
ボローニャ大学教授・博物館システム総責任者



2月11日

第2部 | アーカイブは未来のために なぜ山形大学附属博物館が地域の 記憶をアーカイブするのか？

小幡圭祐
山形大学准教授(人文社会科学部)



コメンテーター

ファシリテーター

山本陽史
山形大学教授



佐藤琴
山形大学准教授



場所

■ オンライン会議システムZoomミーティング 交流拠点施設「N-GATE」レンタルスペースから配信

※日本語講演はイタリア語字幕付き、イタリア語講演は日本語字幕付き、
質疑応答はリアルタイムで通訳有です。

お申し込み方法

QRコードまたはURLからお申し込みください。
Zoomの接続情報、参加方法等詳細は、お申し込み後に
メールでご案内いたします。

[定員] オンライン300名

<https://www.ocans.jp/yamagata-u/entry/all?FID=Mk4z8DGe>



お問合せ

山形大学エクステンションサービス推進本部
TEL:023-628-4779
E-mail:yu-extension@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

[主催] 国立大学法人山形大学(担当:附属博物館、エクステンションサービス推進本部)
[共催] 七日町商店街振興組合、山形大学校友会、山形大学SCITAセンター、
山形大学歴史・地理・人類学研究会
[協力] 山形まちづくり株式会社
[後援] 山形市、ふすま同窓会、山形大学地域教育文化学部同窓会・一般財団法人教友会
チェントロ・ポリティコ研究会、日本ミュージアム・マネージメント学会
[助成] 公益財団法人カメイ社会教育振興財団(仙台市)